

様式1

令和7年度 清瀬市立清瀬第六小学校

学校評価計画

学校の教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動			
よく考え進んで行動する子供 仲良く力を合わせる子供 健康で心豊かな子供		育成を目指す資質・能力 ○問題解決力 ○人間関係形成力 ○健康・安全、体力向上に関する力 特色ある教育活動 ○心の居場所となる学校づくり ○「できる。分かる。」との思いをもつ児童 ○地域とともにある学校			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】	児童が毎日、通いたい学校・教職員が個々の力を発揮し、協働して教育活動にあたる学校・生涯学習の基礎作りを果たす学校				
【目指す児童・生徒像】	自他のよさに気づき、互いの違いを自らの違いに変えていく「違いを力に変える学校」				
【目指す教師像】	児童を中心に行動できる教師・授業で勝負できる教師・チーム六小として行動できる教師				
前年度までの学校経営上の成果と課題					
○学校だよりを活用し、児童のよいところを積極的に発信することで、保護者や地域からの関心度がより高くなった。 ●自己肯定感を十分に高めることができず、登校しぶりなどにつながった。					
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
人権教育の推進	「違いを力に変える学校」の推進	人権尊重の精神に基づき、自己肯定感・自己有用感の高い児童を育成する。	縦割り班活動や学級活動で班や集団で活動する機会を計画的に実施し、互いを認め合い、高め合う力を育成する。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 異年齢活動で互いに認め合うことができた実感した児童(90%以上) 3 異年齢活動で互いに認め合うことができた実感した児童(80%以上) 2 異年齢活動で互いに認め合うことができた実感した児童(60以上) 1 異年齢活動で互いに認め合うことができた実感した児童(60%未満)
		教育活動全体を通して、生命尊重の精神を育成する。	いじめ調査を年間3回以上実施し、実態を把握し早期発見・早期対応につとめる。	4 全学年全学級で実施 3 実施率80%以上 2 実施率60%以上 1 実施率60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
確かな学力の定着	よく考え進んで行動する子供の育成	問題解決型学習を取り入れ、児童の思考力、判断力、表現力を育成する。	問題解決型学習を取り入れ、「自力解決する時間」「考えを発表する時間」「何を学んだかを振り返る時間」を通して、児童が学び合い、高め合う学習活動を積極的に展開する。	4 全学年全学級で実施 3 実施率80%以上 2 実施率60%以上 1 実施率60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
		学習習慣を確立し、既習の学習内容の定着を図る。	既習の学習内容を確認した上で、新たな内容の指導を行うとともに、ICT機器の活用も図りながら家庭に働きかけ、家庭学習の充実も図る。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
体力向上	健康で心豊かな子供の育成	運動の特性に親しみ、生涯にわたって体力向上を図ろうとする児童を育成する。	東京都統一体力テスト結果を分析するとともに、体育部を中心とした教員による模範授業を行い改善した授業を展開する。	4 年3回以上、模範授業の校内公開 3 年2回以上、模範授業の校内公開 2 年1回以上、模範授業の校内公開 1 模範授業の校内公開の未実施	4 全教員が、体育の授業を改善 3 90%以上の教員が、体育の授業改善 2 70%以上の教員が、体育の授業改善 1 70%未満の教員が、体育の授業改善
		自らの健康について自己管理しようとする児童を育成する。	食育の視点から健康を考える活動を実施するとともに、常に自らの生活を振りかえる学習活動を実施する。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
特色ある教育活動	地域の伝統や文化を理解・尊重し、愛着と誇りをもつ児童の育成	地域とともにある学校を推進し、心の居場所をもつことができる児童を育成する。	ライカを中心とした学校図書館、校内研究での学校図書館を活用した言語活動の充実を通して、心の居場所となる学校づくりを推進する。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
		地域資源等を活用した学習を実施し、違いを力に変え、郷土清瀬に誇りをもつ児童を育成する。	地域人材を活用した体験や問題解決学習を実施し、多面的・多角的な見方や考え方の育成を図る。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
児童が校楽のしくみを通して	児童の規範意識の醸成	安全教育を通して、けがや事故の未然防止を意識した児童の育成を図る。	セーフティ教室、自殺未然防止教育、薬物乱用防止教室、SOSの出し方に関する教育を実施し、児童の危機管理意識を醸成する。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)
		教育活動全体を通して、児童の規範意識の醸成を図る。	六小のきまり、教職員の共通理解による指導により、児童の小さな変化を見逃さない風土の醸成を図る。	4 教員の自己評価で90%以上 3 教員の自己評価で80%以上 2 教員の自己評価で60%以上 1 教員の自己評価で60%未満	4 児童の満足度評価A(児童の80%以上) 3 児童の満足度評価B(児童の50%以上～80%未満) 2 児童の満足度評価C(児童の30%以上～50%未満) 1 児童の満足度評価D(児童の30%未満)